

授 業 科 目 名	おもちゃと絵本 I	教 員 名	堀之内 信子	免許・資格 との関係	小学校教諭	
					幼稚園教諭	
授 業 形 態	講義	担当形態	単独		保育士	
科 目 番 号	KOD102	配当年次	1年後期	卒業要件	ベビートイ 2級	必修
単 位 数	1 単位				小幼コース	幼保コース
科 目						
施 行 規 則 に 定 め る 科 目 区 分 又 は 事 項 等						
一 般 目 標	0・1歳の子どもの発達課題である基本的信頼感の形成および自律性を理解し、発達課題を達成するために必要とされる、おもちゃ、絵本の導入意義を理解し、使用方法を修得する。					
到 達 目 標	0・1歳の子どもの発達課題である基本的信頼感の形成および自律性を獲得するために、おもちゃと絵本を提供する目的と意義を理解し、子どもの発達状況に応じたおもちゃ・絵本の提供ができるようになる。保育現場において、子どもの発達段階にあったおもちゃと絵本を提供する目的と意義を説明できるようになる。					
授 業 の 概 要	E.H.エリクソンのライフサイクル理論およびロバート・エムディーの児童精神医学理論、レフ・ビゴツキーの心理学理論に基づき0・1歳の発達課題である基本的信頼関係の形成、自律性、感受性の形成プロセス、発達の最近接領域を学ぶ。保育者が発達段階に応じ、どのようなおもちゃや絵本を提供するのか、子どもたちがおもちゃを自ら選び、考え、楽しく遂行できるようになる具体的内容を理解する。その上でおもちゃ・絵本が、子どもとの基本的な信頼関係の形成及び意欲、興味・関心、創造力、社会性等の非認知能力を育むことを学ぶ。双方向授業としてシェア&ワークの手法を取り入れる。					
ディプロマ・ポリシーとの関係	本講義は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げられている「専門職に求められる知識と能力」として、保育活動の実践に不可欠なおもちゃと絵本の専門知識を身に着ける科目として配置している。					
授 業 計 画	<p>第1回:オリエンテーション:①授業全体像の説明。授業目標及び本授業の到達目標を確認する。②発達課題:E.H.エリクソンのライフサイクル理論およびロバート・エムディーの児童精神医学理論、レフ・ビゴツキーの心理学理論を学び、発達の特性を学ぶ。発達理論に基づき、発達の順序性、基本的信頼、感受性の土台、最近接領域について学ぶ。</p> <p>第2回:絵本を通してそこに投影される子どもの心を育てる意義を学ぶ。読み手自身の原体験に遡り、大人に読んでもらう体験、自分で読む体験、同じ絵本を読んであげる体験という3度の体験により、子どもの育ちを促す絵本の特徴を理解し、絵本の読み方を修得する。</p> <p>第3回:人形を使ったごっこ遊びの意義を学ぶ。子どもの発達を促す遊びになるためには、どのような条件が必要であるのか。また、人形やままごと等のごっこ遊びを通じた情緒的交流や見立て遊びが、人格形成の基礎を培っていくためになぜ必要であるのか、子どもの発達に影響する遊びの条件について学ぶ。</p> <p>第4回:知育玩具である積木の歴史的背景をヨーロッパの幼児教育の実践から学ぶ。海外の幼児教育の実践事例を通して、積木遊びが子どもの発達に必要な理由、積木遊びを通じた探索的行動の意義、子どもの興味・関心を高める積木の条件及び積木の提示方法について学ぶ。</p> <p>第5回:発達の順序性と五感を豊かに育てる各種おもちゃの特長を学ぶ。特に、音の出るおもちゃ、手で押すおもちゃ、手で引っ張るおもちゃ、叩くおもちゃ、落ちる動きを追うおもちゃが、目と手の協応、手指の巧緻性、追視、予期的追視等の発達に繋がっていることを理解する。</p>					

	<p>第6回:0・1 歳児から 2・3 歳児へと遊びを繋いでいく、遊びの連続性について学ぶ。現段階の発達に合う遊びから発達の少し上を狙うことにより、興味・関心が高まっていく発達の最近接領域について学ぶ。</p> <p>第7回:0・1歳の発達課題や発達の最近接領域に基づく、おもちゃ・絵本の選び方・導入方法について、おもちゃと絵本を各自選定しプレゼンテーションする。</p> <p>第8回:0・1歳の子どもの発達課題である基本的信頼感の形成、自律性、感受性の形成、発達の最近接領域を学び、子どもの発達段階にあったおもちゃと絵本を提供する目的と意義について総まとめを行う。</p>
学生に対する評価	筆記試験(50%)、プレゼンテーション(40%)、小テスト(10%)にて評価する。
時間外の学習について	<p>予習:授業終了時に示した内容を事前に学習しておく(1時間程度)</p> <p>復習:授業ノート・テキスト該当部分を授業終了後に読み、理解を深める(1時間程度)</p>
テキスト	<p>①『子育てを感動にするおもちゃと絵本』藤田篤著、ゆいぽおと</p> <p>②『子どもの心が見える本』佐々木正美著、子育て協会</p> <p>その他、資料を配付する。</p>
参考書・参考資料等	適宜案内する。
担当者からのメッセージ	保育における基本的ツールともいえる、絵本、おもちゃについて関心のある方、基本的知識とスキルを身に付けておきたい方の受講をお待ちしています。
オフィスアワー	授業終了後に随時行う。